

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	からふる尾島		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日		2026年 1月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日		2026年 1月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内が広い活動スペースを活かし、子ども一人ひとりの状況や目的に応じて、集団支援と個別支援を柔軟に組み合わせながら支援を行っています。	利用児の実年齢に合わせ、外出先を工場見学や散歩の出来る公園等を中心に選んでいる。 また実際におこなった内容を保護者等に会報などでお知らせをし情報発信している。	引き続き、学齢期や個人の成長に同じで、経験や体験をおこなえる環境や場所を選んでいけるよう配慮していく。 利用者の興味関心をひく物などにも目を向けて活動を選ぶようにする。
2	専門的な資格を取得したスタッフが多く在籍している。 ※基本的に保育士、児童指導員の資格を有しているものが指導員として配置されております。また、正職員については、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）を全員修了受講しております。	法人として強度行動障害支援者養成研修を開催（社員1名が指導者研修を修了し講師として開催しております。）し、資格者養成や専門的な知識を学ぶ機会を提供をおこなっている。	会社の研修だけではなく外部の研修にも積極的に参加をし、スタッフが専門的な知識を学ぶ機会をさらに増やす。
3			

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内が広い活動スペースを活かし、子ども一人ひとりの状況や目的に応じて、集団支援と個別支援を柔軟に組み合わせながら支援を行っています。	広い活動スペースを活かし、集団活動と個別支援を状況に応じて柔軟に展開しています。子どもが安心して活動できるよう、構造化を意識し、見通しを高める支援を日常的に行っています。	援内容や子どもの成長に合わせ、定期的にレイアウトを見直しています。今後も環境面からの支援を重視し、より分かりやすく活動しやすい空間づくりを通じて、支援の質向上に取り組んでいきます。
2	専門的な資格を取得したスタッフが多く在籍している。 ※基本的に保育士、児童指導員の資格を有しているものが指導員として配置されております。また、正職員については、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）を全員受講し修了しております。	法人として強度行動障害支援者養成研修を開催（社員1名が指導者研修を修了し講師として開催しております。）し、資格者養成や専門的な知識を学ぶ機会を提供をおこなっている。	社内研修に加え、外部研修にも積極的に参加し、スタッフが専門的な知識を学ぶ機会を拡充しています。さらに外部コンサルも活用し、より専門的かつ集中的に人材育成と支援の質向上に取り組んでいます。
3	子ども一人ひとりに適切なアセスメントを行い、ニーズや課題を踏まえた支援計画を作成しています。	スタッフが参加する定期的な支援会議を実施し、情報共有や支援方針の検討を行っています。 また、スタッフが関与しながらアセスメントを作成しています。	個別支援計画の作成プロセスが適切に整備され、全スタッフが手順を理解し実施しています。また、評価表やチェックリストを個別に作成し、フォーマルアセスメントの重要性を重んじるとともに、絵カード等の視覚支援も積極的に取り入れています。